



日野市シルバー人材センター（SC）の会員を増やすことは、就業の拡大と並んで当SCの二大目標のひとつですが、会員増強の努力の中でもかねてから悲願として取り組まれてきた「女性会員500人」がいに達成されました。女性会員は今年度8月末現在

女性会員、ついに500人に 日野市シルバー人材センター発足以来初めて

で496人でしたが、9月1日入会の新入会員10人のうち4人は女性で、同日現在で女性会員は500人になりました。

男性を含めたセンター全体の会員数も9月1日現在で1713人と1700人台を回復しましたが、女性会員500人は全会員の約30%とほぼ3分の1を占め、女性の活躍の場としてSCが選ばれることが確実に増えつつあることを示す結果と言えます。

当SC発足以来、圧倒的に多い男性会員に対して「元氣な女性が多い現在、せめて会員の3分の1は女性が占めて欲しい」はセンター全体の強い思いでした。しかし、女性会員数の最近5年間の推移（別表参照）でも入会状況は低迷し、平成26年度末は400人を割って394人となり、27年度末も40



第137号
平成30年9月15日
発行：公益社団法人
日野市シルバー人材センター
編集：広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel: 042-581-8171



会員数(人)
平成30年7月31日

計	1,678
男性	1,194
女性	484
7月入会者	16
(男16、女0)	
7月退会者	2
(男2、女0)	

H28年度、H29年度の入退会者数推移

月	28年度		29年度	
	入会者	退会者	入会者	退会者
4	81	14	57	11
5	51	9	27	8
6	11	31	18	23
7	19	6	19	11
8	9	5	20	5
9	15	9	7	8
10	40	9	30	9
11	29	4	27	16
12	20	16	16	19
1	4	16	12	12
2	10	25	10	31
3	4	93	2	76
計	293	237	245	229

7人でした。ところが、センターの女性委員会が27年春から年3回のペースで始めた女性限定入会説明会など懸命の努力が徐々に実を結んできました。

働き手不足が深刻化するなど社会情勢が大きく変化する中で「労働の担い手」として女性に改めて注目が集まったことも追い風となり、28年度から女性会員数は上昇カーブを描き、ついに500人に到達しました。

共働・共助

配分金の支払日
 9月20日(水)
 10月19日(金)
 11月20日(水)
 12月20日(水)
 1月18日(金)
 2月20日(水)



パステル画を楽しむ女性会員

歳から第2の人生、共に満喫しようではありませんか。

世の中、今は女性に追い風。60歳の第2の人生、共に満喫しようではありませんか。

日野市シルバー人材センターが公益社団法人になった平成23年の頃から女性会員500人を目指し、やっと、やっと達成しました。就業してもらったことは勿論、退会者を減らすことも大事です。様々なイベントを開催して当センターの別な一面を楽しんでいただき、PR活動の一助にもと活動してきました。好評な講習会では申し込み者が多く、締め切りを過ぎるのを待つ時もあり、女性委員会(7人)で思わずため息をついてしまいます。

再生紙を使用しています

渋谷女性委員長の話

日野市SC会員が活躍中の派遣の職場 H30年7月1日現在
 (*印は 請負から派遣に移した仕事)

	派遣先業種	仕事の内容	就業人員	就業時間/日	就業日数/週
1	スーパー	惣菜作業	3	4h	3-4
2	保育園	保育補助	1	5h	3
3	介護	デイサービス介助	2	3h	3-4
		訪問介護	3	1h	2-3
		訪問介護	1	1h	1
4	動物園	調餌作業	6	3h	3-4
5*	メーカー	計測機械組立	4	5h-7h	2-4
6*	メーカー	経理補助	1	4.8h-5h	4
7*	メーカー	食品製造	4	5h-7h	2-3
8*	福祉サービス	勧誘業務	1	6.5h	2
9*	スーパー	商品陳列	1	4h	4
10*	飲食店	清掃/洗い場作業	1	2h	1
11*	治療院	経理補助	1	1h-2h	1-2
12	保育園	用務	2	5.5h	3
13	運輸	荷物仕分け	5	3h	4-5
			1	3h	3-4
14	運輸	荷物仕分け	1	3h	4
			2	2h	4
15	貿易	検品/梱包	1	3h	3
16	総合サービス	バス乗降誘導	2	4h-4.5h	3-4
17*	スーパー	商品陳列	7	3h	3
18	不動産	マンション管理	1	0.5h-4.5h	4
19	幼稚園	保育補助	1	4h	2
20	保育園	保育補助	1	5h	3
		保育補助	1	4h	2
		子育て支援	1	5h	3
21	メーカー	製品仕上と梱包	2	5h	3
22	保育園	保育補助	2	3.5h-5h	4
23	運輸	荷物の仕分け	2	3h	4
24	飲食店	食器洗浄/片付け	1	5h-5.5h	2
25*	会計会社	仕訳け入力	3	7h	1-2
26*	病院	調理	3	4h	2
27	印刷	校正	2	7h	2/月
28*	日野市	学校事務	17	3.75h-4h	5
29	幼稚園	用務	1	6h	2

派遣事業、好調続く

当SCの「シルバー派遣事業」が大きく実績を伸ばしていることは、今年の本紙5月号(133号)でお伝えしましたが、その勢いを裏付ける新しいデータが明らかにになりました。都内58のSCを束ねる東京しごと財団がこのほどまとめた今年度都内SC別事業実績(請負および派遣)の6月速報値(7月末現在)によると、日野市SCは事業実績20項目のうち5項

目でトップに立ちました(3面別表参照)。

トップを5項目で記録したのは日野市のみで突出しています。以下は、トップ4項目に足立区、同3項目に世田谷区、同2項目に葛飾区、同1項目に大田区など9市区町でした。日野市の5項目はいずれも派遣の実績で、受託件数、就業延人員、契約金額中の賃金と手数料、その合計額でトップでした。このうち受託件数は33件で、次位は八王子、三鷹両市の30件。就業延人員は1209人で、

1200人を超えたのは日野市だけ。また賃金と手数料の合計額が600万円を超えたのも日野市のほかには三鷹市のみで、請負から派遣への移行を含めた適正就業の推進と就業開拓の努力が着実に成果を生んでいることを示す結果となりました。

当SCの派遣就業内容

当SCの派遣事業は平成28年7月からスタートしました。適正就業の推進で、既存契約で請負

3面へ続く

理事会ニユース

★第5回理事会 8月27日

- ・審議事項 正会員の入会(10人承認、9月1日10人入会)
- ・報告事項 平成30年度事業実績(4~7月分) 契約金額2億1869万円(前年度比2.3%増)

「センター行事日程」

- 9月12、20日 体力測定会 生活・保健センター
- 9月26日 女性限定入会案内説明会 センター会議室

「まちづくり市民フェア2018」

日野市内の市民活動団体が年に1度集い、市民のみなさんと交流する「フェア2018」が10月21日(日)午前10時から午後3時まで市民の森ふれあいホールや蚕糸公園を会場に開かれます。今年は72団体が参加、約50のブースでの展示・販売や活動発表などをおこない、屋外では多くの模範店による飲食販売などがあります。

3回目の出展となる日野市SCは広報委員会、リサイクル事務所、工房クローバーが参加します。

事務局職員人事異動

- ・採用 掛川 陽介(9月1日)
- ・採用 樋口 孝子(9月1日)
- ・退職 戸川 美紀(8月31日)

H30年度センター別事業実績(派遣)と会員数 6月速報値(H30/7末現在)				
	1位		2位以下	
就業実人員(人)	三鷹市	94	3位 日野市	90
就業延人員(人)	日野市	1,209	2位 三鷹市	1,132
就業率(%)	青梅市他	100	10位 日野市	72.6
受託件数(件)	日野市	33	2位 三鷹市 八王子市	30
契約金額-賃金 (千円)	日野市	4,698	2位 三鷹市	4,621
契約金額-手数料 賃金(千円)	日野市	1,570	2位 三鷹市	1,466
契約金額-合計 (千円)	日野市	6,268	2位 三鷹市	6,087
会員数(人)	江戸川区	3,714	15位 日野市	1,664

2面から続く
 になじまないものについては派遣に移行したり、契約を終了させたりしました。
 一方、平成29年度以降は新規の派遣事業開拓に精力的に取り組み、現在、2面別表のように29事業所で会員が就業しています。その別表では、事業所、仕事の内容、就業人数と1日の就業時間、1週あたりの就業日数などを詳しく掲載しましたので、ぜひ就業選択の参考にしてください。なお、都内での就業の派遣元となる東京しごと財団は「週20時間未満」という就業条件を厳しく守るよう求めており、そのためにたとえば日野市の学校事務では就業時間が微妙に調整されていることも表からわかります。

スクールガード ボランティアの活動例

学童の登・下校時の見守り活動(スクールガードボランティア)は学校によって活動の仕方に違いはありますが目的は同じです。

登・下校時に学童が通学路を「安心して事故にあわない」「不審者に付きまとわれない」ために暖かい目で見守る、賛同者の個人個人が出来る範囲で活動するボランティア活動です。

活動例を紹介致します。
 ◎登録会員が登・下校時に横断中の旗振りをして学童が横断歩道を安全に渡るよう誘導する。
 ◎車両・自転車から学童を守る。

◎ある班の会員は、通学路の雑草が背の高さまで伸びて死角になつている所を草刈りして通学路を安心して登・下校してもらえよう活動している。

◎幹線道路の歩道では一緒に歩いて交通事故に合わないよう見守る。

◎ある学校は学校関係者とPTA役員が中心にボランティア参加員が集まり、マップを作り危険箇所、見通しの悪い箇所、交通

量の多い道等を確認し情報交換を定期的に行っている。

◎学校の近くの団地では歩道に面した植木が学童の背の高さまで伸びているので、低く伐採し見通しが良くなるよう協力して下さる管理組合もあります。

「スクールガードボランティア」はなじみのない言葉ですが、簡単に言えば「学童の通学安全見守り運動」です。

日野市では、学童が安心して登・下校できる環境を少しでも良くするために活動を行っています。この運動に参加すれば、地域の方々からも見守る活動に感謝されると思います。

ご賛同の会員は事務局鶴川次長まで申し込み下さい。活動する時は教育委員会から交付されるスクールガードボランティアの腕章と会員証・ホイッスルを携帯して下さい。
 (地域委員会)



スクールガードボランティア
腕章、会員証、笛、旗

新任班長の紹介

みつし
三石三郎 日野2班長に聞く



この7月に日野2班の班長に選任されました。加入後10年近くになります。

その間、七生テニス受付、落川交流センター受付を担当、現在は浅川グラウンド受付に従事しております。

活動モットーは「元気に楽しく」です。加入以来、職場の皆さん、同じ班の皆さんのおかげで、元気に楽しくやつてこられました。感謝の気持ちでいっぱいです。前任班長さんがご体調不良とのことで考えざるを得なくなりましたが、仲間の皆さんが「元気に楽しく」活動できるように、少しでもお役にたてればと引き受けました。

社会環境、自然環境の悪化等我々の業務環境は日々厳しくなつてきております。このようななか、日野市シルバー人材センター(SCC)の活動をさらに活発化するため、我々自身の取り組みがかなり重要なポイントになつてくるように思っています。高齢化に伴い視野も狭くなつてきます。家庭、趣味その他もろもろ忙しい日々ですが、何ができるのか、何かいい活動はないのかなど時々考え、皆で知恵を出し合つて「元気に楽しく」活動できるSCにしたいと思つています。よろしくお願い致します。

チェーンソー取り扱い

安全管理委員会

チェーンソー(注)は剪定や木材を切る時に使われ、短時間に効率よく作業を進めることができる便利な工具で現在は一般に広く使用されている。ただ、使用方法を誤ると深刻な事故につながる可能性がある。正しい使用方法を把握し、慎重に扱う必要があります。

安全管理委員会では7月17、18日の座学に引き続き、8月6日リサイクル事務所で実技の講習を行いました。直接操作しない会員も参加され関心の高さがうかがわれました。

次に操作上の要点を述べます。

- ①保護メガネを必ず着用。
- ②作業にあつた服装⇒長袖シャツと長ズボン、帽子や手袋も必ず着用し、ゴム長靴のようなものを履く。
- ③チェーンの張りは常時適正に。
- ④チェーン刃用のオイル量は必ず点検。
- ⑤作業する近くに他人が入らないように気配りする。
- ⑥チェーンのライン上に立たないこと⇒チェーンの刃先の上四分の一あたりが木材に当たった時や、切れないもの(金属など)に触れた時にキックバック(跳ね上がり)が発生するため。

⑦切った木がどちらに移動するか予測⇒剪定時等では木を切った後、木が自重で落ちたり反動で上や横に移動するので注意する。これを怠ると命にかかわる重大事故を引き起こす。

チェーンソーは植木班で使用することが多いと考えられますが、他の人も必要に応じて使用することがあるとされます。使用時には基本に立ち返り安全に作業を進めるようにしてください。

注：チェーンソーとは、多数の小さな刃がついたチェーンを動力により回転させて、鋸と同様に対象物を切ることができる動力工具の一種。

主に林業や製材で使われる。日本語では鎖鋸(くさりのこ)という。



あいさつ運動

8月のあいさつ運動は27日(月)朝、日野市内の小中学校で一斉に行われました。

ここ日野四中では朝8時前すでに気温30度を超えた暑さの中、S C会員が先生達と一緒に登校してくる生徒達を待ちました。この日は長い夏休みが終わった始業式の朝で、8時前後からグループで賑やかに、また一人で静かに、思いのスタイルで登校の波が押し寄せてきました。「おはようございます!」の声に元気よく「おはようございます!」と返す生徒や、少し休み疲れかな?と思われる生徒もこちらの「おはようございます!」の声に背筋を伸ばして校内に入っていく生徒も。反応も様々でした。先生達もこの日はいつもより多く9人が元気に声をかけていました。他にはPTAの方も。

シルバー人材センター会員は2名の参加でした。その内の一人、宮古和則さんは近くの第六小学校

日野市SCC40周年記念式典
平成31年4月20日(土)

あじふ



日野四中の校門で(左端が会員)

校での参加も含めてもう5年以上、朝のあいさつ運動に参加しており、「会員である間は続けま」と張り切っていました。しかし日野四中には毎回ほぼ宮古さん一人の参加とのことでした。

あいさつ運動は原則として奇数月の第一登校日に行われます。日野市内には17小学校と8中学校の合計25校あります。参加された会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

市施設の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます

★各種がん検診、肝炎ウィルス検診等については市健康課にお問い合わせください。

☎042(581)4111